

ユーザー訪問 ヘルスケアセイジョー薬局 杉並堀ノ内店●東京都杉並区

服薬指導支援システム「Navity」の活用で、迅速・的確な指導が可能

関東を中心に店舗展開している(株)セイジョーが目指すのは専門性を重視したサービスを提供するドラッグストア。その一環として調剤併設店を展開しており、今後も拡大していく方針だ。同社が重視する服薬指導で活用されているのが、(株)EMシステムズの服薬指導支援システム「Navity」。安全性のチェックはもちろん、病気や検査の解説といった豊富な医療情報を患者に提供できるなど、多彩な機能を持つ実践型の電子薬歴システムだ。

薬局および調剤併設路線を拡大し、サービス・専門性を重視するドラッグストア

ドラッグストアのタイプを、サービス志向、利便性、価格志向、専門性の4つのベクトルで分けた場合、関東を中心にドラッグストアを運営する株式会社セイジョー(本社：東京都府中市、塚本厚志社長)は、一般的な利便性・低価格志向のディスカウント型やコンビニエンス型とは一線を画し、サービス・専門性に重点を置いた専門店型ドラッグストアを目指している。10年ほど前から調剤薬局および調剤併設ドラッグストアを展開、コンサルティング販売を重視した経営路線を進化させている。

東京世田谷区の成城薬局がセイジョーに社名変更したのは1966年。その後、次々と店舗拡大を図り、現在では東京都内に

136店舗、神奈川県に35店舗、埼玉県に15店舗、栃木県・千葉県・静岡県に25店舗、計211店舗を経営している。そのうち、8店舗が調剤専門、調剤併設ドラッグストアが27店舗である(2006年5月末現在)。

「地域住民の健康維持・増進に対する総合的なサービスを提供するには、OTC薬と調剤を併設する調剤併設ドラッグストアの拡充が重要だと考えています。また、それが他のドラッグストアとの経営戦略上の差別化に結びつくと思っています」。

調剤併設の狙いを同社調剤部長の須永崇氏はこう説明する。当面の目標として、調剤専門と調剤併設を合わせて40～50店舗まで積極的に増やしていく方針だという。

こうした調剤併設を拡大していく上で、課題となるのが薬剤師の確保だ。しかし、専門性を重視するセイジョーでは、店舗スタッフの80%強が薬剤師、栄養士および薬学専門学校で学んだスペシャリストであり、調剤併設を推進する土壌は整っている。

調剤併設ドラッグストアで処方薬以外の情報も併せて患者に提供する——。そこに大きな魅力を感じ、「雇ってほしい」と自らを売り込んだのが、昨年開局したヘルスケアセイジョー薬局杉並堀ノ内店(東京都杉並区)で調剤部門の薬局長を務める薬剤師、高橋裕久子氏。「医療費抑制が叫ばれる中、“セルフメディケーション”が重要視されてきています。今後、OTC薬、サプリメント、自己検査機器などの情報ニーズは、大きくなっていくと考えられます。一方、かかりつけ医の診断のもと、処方薬を確実に服用することも大事。そこで、薬剤師としての活動を広げるために、調剤併設ドラッグストアへの就職を決めました」と高橋氏は語る。



調剤併設ドラッグストア、ヘルスケアセイジョー薬局杉並堀ノ内店の処方せん受付コーナー。患者は待ち時間に店内の製品を購入することが多い。

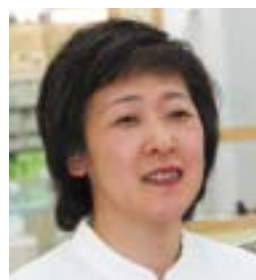
実際、OTC薬との飲み合わせはどうかなど、調剤専門薬局ではあまり見られない相談もあり、「患者様はこういう話を聞きたかったんだな」と改めて調剤併設のメリットを感じているという。

患者とコミュニケーションをとりながら的確な服薬指導が可能な「Navity」

より専門的なサービスを地域住民に提供することを重視するセイジョーは、当然のことながら服薬指導に力を入れている。薬剤師の研修も年々充実させているが、現場での即戦力として昨年秋から導入したのが、EMシステムズの服薬指導支援システム「Navity」である。セイジョーではEMシステムズのレセコン「Recepty」を採用していたが、「Navity」の発売後、須永氏が実際に体験し、「患者さんとコミュニケーションをとりながら的確な情報を提供できる」と判断して「Navity」を追加導入した。

「Navity」はスピーディーで的確な電子薬歴を実現する。服薬指導画面では、問題点ごとにSOAPを記載する方式を採用しており、服薬指導文言集を活用すればワンクリックでSOAP欄に登録できる。「Check欄には次回引き継ぎ事項が登録でき、次回画面上部に表示されるため、引き継ぎ事項を見逃さず、継続性のある指導が可能で、とても便利ですね」と高橋氏はその使い勝手の良さを評価する。

「『Navity』では登録データの二次的活用で様々な統計管理が可能で、たとえば、過去の指導内容を確認しながら指導方針を見直し、より質の高い服薬指導を提供していきたい。さまざまなチェック結果や検査値など、『Navity』に蓄積されるデータは企業経営上、将来非常に有効な素材になるはず。『Navity』の導入は、そういったことへの先行投資とも位置づけている。今後も全店に導入したい」と、須永氏は「Navity」の積極的な活用について語ってくれた。



ヘルスケアセイジョー薬局杉並堀ノ内店 薬局長、高橋裕久子氏